

地理歴史・公民科

教科名	地理・歴史科	科目名	世界史B
科目の目標	(1) 歴史に対する興味・関心を深め、基本的な歴史用語を理解する。 (2) 歴史の学習を通して現代社会についての理解を深め、歴史の方法論を学ぶ。		
履修学年	2年	類型	文系・理系共通
単位数	4単位	履修形態	選択
教科書	世界史B(東京書籍)	副教材等	グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社) 要点マスター世界史B確認問題集(東京書籍)

①学習の目標

- (1) 人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野を持って歴史とそこに存在している人間についての理解を深める。
- (2) 混迷を深める国際社会を生きぬくための世界観を提示し、自主的・意欲的な学習に結びつける。

②学習内容と授業の進め方

オリエンテーション

歴史の中でいくつかの題材を選び、歴史への興味付けを行う。

序章 先史の世界

第1章 オリентと地中海世界

第2章 アジア・アメリカの古代文明

第3章 東アジア世界の形成と発展

第4章 内陸アジア世界の変遷

第7章 諸地域世界の交流

第5章 イスラーム世界の形成と発展

第6章 ヨーロッパ世界の形成と発展

第8章 アジア諸地域の繁栄

第9章 近代ヨーロッパの成立

第10章 ヨーロッパ主権国家体制の展開

各項目を解説する中で、正しい歴史観を持たせる。知識を身に付け、歴史の見方を養う。

③学習に当たっての留意点

- (1) 歴史は、興味深いものであると同時に正しい歴史観が社会を見る目を養い、現代社会の諸問題の解決に重要な意味を持つことは言うまでもない。こうした正しい歴史理解に加えて、本校においての世界史は、多くの生徒にとってセンター試験の必須受験科目であるという現実は無視することができない。
- (2) 本校の教育課程では、2年生か3年生で必ず世界史を選択させ、世界史を選択しない学年では日本史または地理を選択させることになっているが、各科目の授業内容の構成上、受験での使用科目は2年生で選択した科目となる。
- (3) 本校では、センター試験、さらに一部の大学の個別試験に対応するために、教科書の内容を再編集しながら授業を行う。実際に、2年生の4単位では受験に対応するためには内容的に不十分なため、2年生では近世までの世界史を中心に学習する。

④評価の観点

- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 歴史に対する興味・関心を持ち、歴史学さらに社会科学の方法論を身につけることができたか。 |
| (2) 思考・判断
【思】 | 歴史を学ぶことを通して、現代社会の諸事象の歴史的原因等を知り、考えることができるか。 |
| (3) 資料活用
の
技能・表現
【資】 | 教科書・資料集などを活用して、興味をもった事柄について、調べることができるか。 |
| (4) 知識・理解
【知】 | 授業の内容を理解し、世界史の基礎的な知識を身につけることができたか。 |

⑤評価の方法

下位目標:教科書に加えて授業の内容を理解し、センター試験レベルの知識を身に付ける。

中位目標:歴史に対する興味・関心を持ち、関連する現代社会の諸事象への理解を深める。

上位目標:歴史を学ぶことを通して、歴史学さらに社会科学の方法論を身に付ける。

以上の目標について、どの段階まで達成できたかを、定期考査中心に、授業中の観察を加味して総合的に評価していく。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4 5	オリエンテーション 序章 先史の世界 第1章 オリエントと地中海世界	歴史と現代の関わり、歴史への興味付け 考古学と歴史学 人類の発生と進化 古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界	・歴史の学習の導入として学習方法がわかったか。【知・資】 ・基本的な歴史用語が理解できたか。【知】 ・導入で歴史に対するの興味がもてたか。【関】
6 7 8	第2章 アジア・アフリカの古代文明 第3章 東アジア世界の形成と発展	インドの古文明 東南アジアの諸文明 中国の古典文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア文化圏の形成 東アジア諸地域の自立化	・各地域の古代文明の違いの理解。 ・中国史の展開が理解できたか。【知】 ・風土の違いに気づき興味がもてたか。【関・思】 前期中間考査
9	第4章 内陸アジア世界の変遷 第7章 諸地域世界の交流	遊牧民とオアシス民の活動 トルコ化とイスラーム化の進展 モンゴル民族の発展 陸と海のネットワーク 海の道の発展	・中国史における周辺民族のについての知識。【知】 ・地理的な位置が理解できたか。【知】 ・地域の結びつきの概念について興味がもてたか。【関・思】 後期中間考査
10	第5章 イスラーム世界の形成と発展	イスラーム帝国の成立 イスラーム世界の発展 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 イスラーム文明の発展	・イスラーム歴史の流れ、基本的な歴史用語についての知識。【知】 ・諸文明、宗教の違いを正しく理解できたか。【知】 ・イスラーム世界について関心が持てたか。【関・思】
11	第6章 ヨーロッパ世界の形成と発展	西ヨーロッパ世界の成立 東ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容 西ヨーロッパの中世文化	・ヨーロッパの歴史の流れ、基本的な歴史用語についての知識【知】 ・ヨーロッパの文明、宗教や文化の特質を正しく理解できたか【知】 ・ローマ帝国滅亡後のヨーロッパの歴史に関心が持てたか【関・思】 後期中間考査
12 1	第8章 アジア諸地域の繁栄	東アジア・東南アジア世界の動向 清代の中国と隣接諸地域 トルコ・イラン世界の展開 ムガル帝国の興隆と衰退	・アジアの大帝国の成立の状況についての知識【知】 ・この時期の基本的な歴史用語が理解できたか【知】 ・アジアに対するのその後のヨーロッパの関わりに対するの興味がもてたか【関・思】
2	第9章 近代ヨーロッパの成立	ヨーロッパ世界の拡大 南北アメリカ文明 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の形成	・ヨーロッパの発展の経緯についての基本的な知識。【知】 ・この時期の基本的な歴史用語が理解できたか。【知】 ・ヨーロッパの世界各地に対する関わりを考えることができたか。【関・思】 後期期末考査
3	第10章 ヨーロッパ主権国家体制の展開	重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀のヨーロッパ文化	・経済活動を中心にしてのヨーロッパの発展についての知識。【知】 ・この時期の基本的な歴史用語が理解できたか。【知】 ・ヨーロッパ諸国の状況を世界各地とのつながりの上で考えることができたか。【関・思】